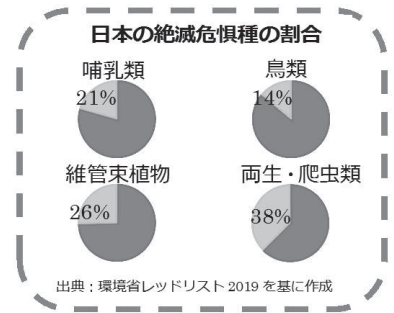


# 生物多様性の危機

近年、人間活動による生態系の破壊が生き物の生育環境を悪化させ、野生生物の絶滅を過去にない速度で進行させていると指摘されています。環境省が1月に公表した環境省レッドリスト2019では日本の絶滅危惧種の合計は3,676種とされました。

今後さらに生き物の種類が減っていくと、将来、地球上の生き物の存続に大きく影響することから、生物多様性の損失は世界で大きな問題となっています。



## 生物多様性に影響を及ぼす4つの人間活動

①乱獲や開発 ②里地里山などの管理不足 ③外来種等の持込 ④地球温暖化等による地球環境の変化

# 生物多様性のためにできる5つの行動

一人ひとりが生物多様性との関わりを日常の暮らしの中できらえ、実感し、身近なところから行動することが、生物多様性を守るための第一歩です。

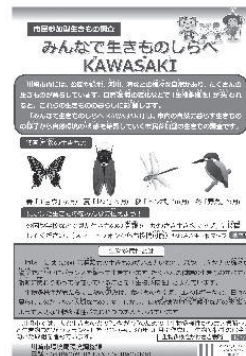
次の5つの中からできることを選んで、まずは行動してみましょう！

- 食べよう！** 地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。
- ふれよう！** 自然の中へ出かけ、動物園・植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。
- 伝えよう！** 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。
- 守ろう！** 生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。
- 選ぼう！** エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。

# 身近な自然で見られた生きもの情報を募集します！

川崎市内の公園・緑地や水辺などで見かけた生き物を募集し、発信する電子地図「かわさき生き物マップ」には、毎年2,000件を超える情報が寄せられています。いただいた情報をもとに、「みんなでつくる生き物図鑑」を公開しているほか、市内の各種イベント時にパネル展示による紹介も行っていきます。

また、市民参加型生き物調査「みんなで生きものしらべ KAWASAKI」の取り組みもしています。市内で見かけやすい生き物を紹介した冊子がありますので、ぜひご活用ください。生き物情報の投稿お待ちしております！

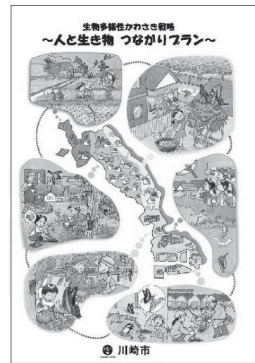


みんなで生きものしらべ KAWASAKI

# 生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～

市では、人と生き物との「つながり」に主眼をおいた「生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～」を策定し、本市のこれまでの取組状況を公表しています。

戦略の詳細はこちらからご確認ください。



## 地元でとれたものを食べよう！

「かわさきそだち」は川崎市内で生産される新鮮・安全・安心な農産物をより多くの方にご覧いただくために作られた名称です。

かわさきそだち 農産物共同直売所一覧